

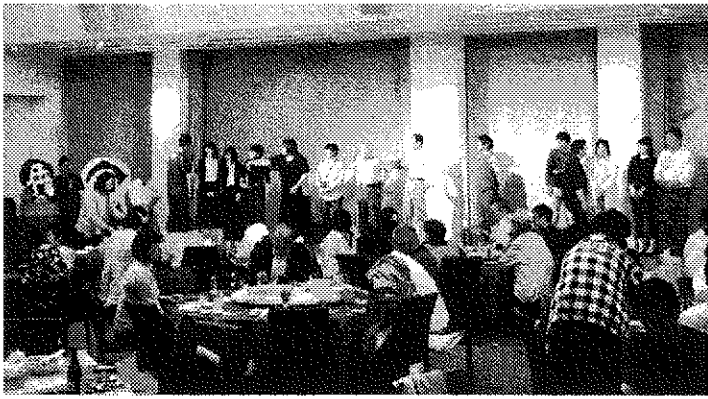
きょうされん京都支部総会

5月11日(土)、12日(日)2日間にわたって、きょうされん京都支部2019年度総会が舞鶴市(1日目・舞鶴市商工観光センター、2日目・舞鶴市総合文化会館)にて行われ、上京ワークハウスからは、仲間、家族、職員、計6名で参加しました。

1日目は、講師に同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科の岡野八代教授を招いての講演が行われました。自らのフェミニズム研究を通じた経験を語り、選挙にて選ばれた政治家に政治を任せきりにするのではなく、私たちがいつでも政治家、国に声(思い)を届けていかなければならないといった事を話していただきました。きょうされんが掲げる「わたしたちがめざすもの」にある、要求運動を展開するにあたって参考となる講義でした。

夜は、交流会が行われ、中丹プロダク事業所の製品の味はどれかを当てるクイズや、各ブロックの寸劇などの出し物で盛り上がりました。

2日目には、議案に対する参加者からの発言が出されました。また、全国大会に取り組み仲間の経験の報告、「ビジョン2022」の発表、きょうされん映画「夜明け前」「星に語りて」の上映会取り組みの発言などがありました。議案は全て賛成多数で採択されました。今年度も、きょうされん運動を地域に広げていきましょう。ご協力よろしくお願ひします。



活動報告をするはんなりドリームのメンバー

参加者の声

玉村 樹里さん

利用者部会「はんなりドリーム」の一員として、昨年9月に開催された全国大会の報告を、300人を超える参加者の前で堂々とされました。その発表の感想として、「緊張して手が震えました。やりがいを感じ次回も張り切って頑張っていきたいです。」と伝えてくれました。

きょうされん支部総会に初めて参加しました。今回の支部総会でさまざまな事業所のお話を聞き、京都から日本各地に発信していくことやベトナムに対して支援していくオレンジ支援があり、きょうされんと国際交流していき海外の障がい者支援を学んでいくことが必要であると感じました。

職員 山田



交流会での作業所製品クイズ